

錯体化学会倫理規範

錯体化学会は、錯体化学の研究を通して真理の探求と未踏の分野の開拓を行い、科学と人類の発展に寄与することを目的としている。そのために会員は、科学的貢献をすると同時に、社会の一員としての自覚をもち、人類と自然環境に責任ある行動をとる。以下に錯体化学会の倫理規範を示す。

(1) [自己の研鑽と向上]

会員は、自らの専門知識、技術、経験を向上させるとともに、それらを有効に活用して、科学の発展に最善を尽くす。

(2) [社会に対する責任]

会員は、人類の持続的発展を促進し、社会秩序を維持するべく行動する。また、世の中の動向に目を見開き、科学に関わる諸問題に対して中立かつ客観的な立場から取り組むとともに、責任を持って結論を導き、それに基づいて行動するよう不断の努力を重ねる。

(3) [結果の公開に対する責任]

会員は、研究を通して得た結果を利害や願望にとらわれずに科学的かつ公平に判断し、客観性をもって公開することを旨とする。データの改ざんや捏造は決して行わず、行わせずを規範とし、データの取り扱いや解釈の妥当性を十分に検証し、再現性の乏しい結果に対しては特に慎重に検討する。

(4) [契約の遵守]

会員は、真理の探究のもと、社会、機関、個人との契約を遵守して行動する。

(5) [他者との関係]

会員は、他者とともに互いの知識、能力、技術の向上に努力し、他者の指摘にも謙虚に耳を傾け、真摯な態度で討論する。また、他者の研究を正当に評価し、知的成果と知的財産権を尊重する。